

「関係」していくということ

今回のテーマでは、「関係 (relation)」というアプローチで様々なお話をしていきます。

「関係」と一口に言っても抽象的で意味がわからないと思うのですが、ここで言う“関係”とは

- ① 女性との関係
- ② 自分との関係

を指しています。この2つの関係に言及したテーマで話をしていきたいと思っているわけです。

まず①の「女性との関係」についてですが、これまでの学びをある程度活かすことができているなら、あなたは魅力的な男として見られているはずです。もう見られているとしましょう。

「ああ、この人はステータスがなくて魅力的だわ」

女性の遺伝子に思わせられるようになりました。そうやって素敵な女性を簡単に落とせるようになったし、職場でも、仲間内でも一目置かれる尊敬の対象になりました、と。

そうなった時に、じゃあそれをどう維持していくか、というのが一つの大きな課題になるわけです。

これまでは、女性と出会って相手を魅了して、そして付き合うなりSEXするなり、、、どちらかと言うと初期のステップにフォーカスしながら、魅力的な男として自立するためのノウハウやマインドセットをお伝えしてきました。

ここでは、構築された人間関係をいかにして維持していくか、という部分にフォーカスして解説していきます。

女性をゲットできたのはいいが、それを続けられなかったら意味がないですよ。

自分好みの美しい女性を魅了した、付き合った、最初はお互い良かった。でも、次第にテンションのバランスを維持できなくなってきた。ボディランゲージが雑になってきた。ステータスも維持できな

くなってきた。終わり。

…では、虚しいだけだと思います。

ただの遊びや浮気や不倫であればそれでもいいという意見もあるかもしれませんが、相手や時期やタイミング次第でステータスを維持していけなくなる、という時点で、嘘の存在になってしまいます。あなたは、そんな上っ面な男を目指しているわけではないと思います。

上っ面ではなく、存在そのものが魅力的でなければわざわざこんなところで勉強している意味がありません。また、上っ面では本当に幸せにはなれません。

前回のテーマでは「テンションのロープ」という概念をもって、いかに男女の本来あるべき関係を維持していくか、という話をしてきましたが、その延長線上の話だと思ってもらっても構いません。

次に、②の「**自分との関係**」ですが、これまでの学びの中で女性の深層心理を知ると同時に自分自身の深層心理も知りました。それによって自分を客観的にみられるように成長したわけですが、つまり、自分と向き合うという意味での“関係”がそこに構築されたということが言えると思います。

これをさらに強化していこうというものです。

この話を聞けば、自分自身の事をさらに知ることになり、そして自分の思考や感情や行動をより意識的にコントロールすることができるようになります。

ここまで勉強してくれているのであれば、自分自身を知る事、そして自分の思考・感情・行動をコントロールすることの重要性は多く語らなくても理解してもらえと思いますが、一応簡単に言っておくと、あなたの行動をブロックしている外部(外の世界や他人)に対する余計な恐れがなくなり、行動力やその元となるエネルギーが格段に高まるということです。

これはかなり深くて興味深い話になると思うので、楽しみにしておいてください。

最初に、「女性との関係」についてお話ししますね。

人の感情、3つの法則

近年、離婚が増えてきていると言う話はよく聞くとおもいます。

これは日本だけにみられる傾向ではなくて、先進国全体がそういう傾向にあるようです。離婚大国と言われるアメリカやロシアでは離婚率は60%とも言われています。

アメリカに移住した友人から聞いた話ですが、中には5回も6回も再婚を繰り返すツワモノも少なくないそうです。ここまでくると、もはや(何らかの意図により)離婚する前提で結婚していると思えませぬ。それかよほどの馬鹿か(こっちが大半かな 苦笑)。

まあそれはいいとして、離婚率が増えている原因としてはいろんな時代背景があるのだと思いますが、どんな背景があるにせよ、双方間に何かしらの問題があつての離婚です。

結婚前や結婚してしばらくはとも相手の事を尊敬していたし、魅力的だと思えていたのに、段々とそれが薄れていったと。価値観が違ったとか、目指している所が違ったとか、生活スタイルが合わないとか、色々と言うわけですが、違う人間同士、ましてや男と女なのだからそんなもの違いに決まっています。たとえ価値観が合う者同士でも、目指している家庭の在り方が合致していても、離婚する夫婦は普通にいますし、お互いに浮気することもあります。

そういうことじゃなくて。

これは要するに、テンションのバランスがとれなくなったから、一緒にいられなくなったということです。

前回のテーマでお話したセクシャル・テンションの話を思い出してください。このロープをお互いに緩めすぎたか、もしくは引っ張りすぎて切れてしまったか、それはケースバイケースですが、大体はこのどちらかで説明がつかます。

価値観とか生活スタイルとかそういう事じゃなくて、成熟した視点から上手にテンションのバランスを取っていれば、男女は良い関係を続けて行くことができます。

とは言え、恋人同士の時ほど難しくはないのですが、結婚すると途端にこのテンションのバランスが難しくなってしまいます。子供が生まれてからは特に、です。

子供が生まれると、基本的に女性は子供につきっきりになりますから、一日の大半はピリピリしています。睡眠不足でストレスも溜まって、中にはノイローゼ気味になってしまう女性もいるのですが、そうなってくると旦那への対応が雑になっていきます。会話も、態度も、食事も雑になるし、怒りっぽくもなります。

また、授乳している場面を見続けていると、奥さんを性的対象として見られなくなってしまうケースもあります。そこに「母親(自分の母親や、自分が抱いている母親像)」を投影してしまうことで拒否反応が起こるからだといいます。

いずれにせよ、男女が良い関係を継続していくために必要な「セクシャル・テンションを保つ」というのは、簡単ではないということです。

それを達成していくためにまず知っておくべきなのが、「人間の感情3つの法則」という概念です。

これは、人間が文明というものを築いてからずっと変わらない、原始的な、世界共通の感情の法則です。

■ 法則1: 手に入らないモノが欲しい

結局人間は手に入らないものが欲しいわけです。

美人の彼女が欲しいと思うのは、今彼女がいないか、あるいは今付き合っている彼女のクオリティが低いからそう思うわけだし、作ろうと思ってすぐにできるようなものではないから欲しいと思うわけです。

高級車が欲しいと思うのも、高級時計が欲しいと思うのも、高級マンションが欲しいと思うのも、手に入らないからです。逆にどんなに「高級」なものでも、簡単に手に入ってしまうものを欲しいとは思いません。

手に入らないモノ“だけが”欲しい、と強調して言ってもいいと思います。

■ 法則2: コントロール(制限)されることを嫌う

人の言うことやすることにわざと逆らうひねくれ者のことを「天の邪鬼(あまのじゃく)」と言ったりしますが、これは特殊な人間を指すのではなく、これが人間なんです。自分がやりたい時に、やりたい事を、やりたいようにやりたいというのが人間の本質的な性なんです。

例えやりたい事でも人からやれと言われるとやりたくなくなるのが人間です。学生の頃、宿題をやろうと思っていたのに、母親に「宿題しなさい」と言われて途端にやる気をなくしてしまったというのはよく聞く話ですが、これはそういうことです。

とにかく、人間は誰かに自分の何かをコントロール(制限)される事をとても嫌います。

■ 法則3: 自分以外は愛せない

基本的に人間は、自分以外愛せないという本質的な性質を持っています。

これには反論も出てくるかもしれませんが、「俺は彼女を愛している」とか「子供は自分の命にも変えられる」とか「家族のためなら死ぬ」という意見が出てくると思います。

「愛」の定義が曖昧なのでここで納得してもらうことはできないかもしれませんが、人は人を好きになるのも、憎むのも、喜ぶのも悲しむのも、すべては“**自分主体**”だということです。自分じゃない誰かに同情したり、誰かを守ったりすることはできますが、自分主体である以上(自分の人生の主役は自分だという概念がある以上)、他人を主体に何かを考えたり、何かを決断したりすることはできないということです。

今これを100%理解する必要はありませんが、とにかく、この[人間の感情3つの法則]の話はまずは頭に入れてほしいと思います。そうすれば、ここからの話がスッと入ってきやすくなりますので。